

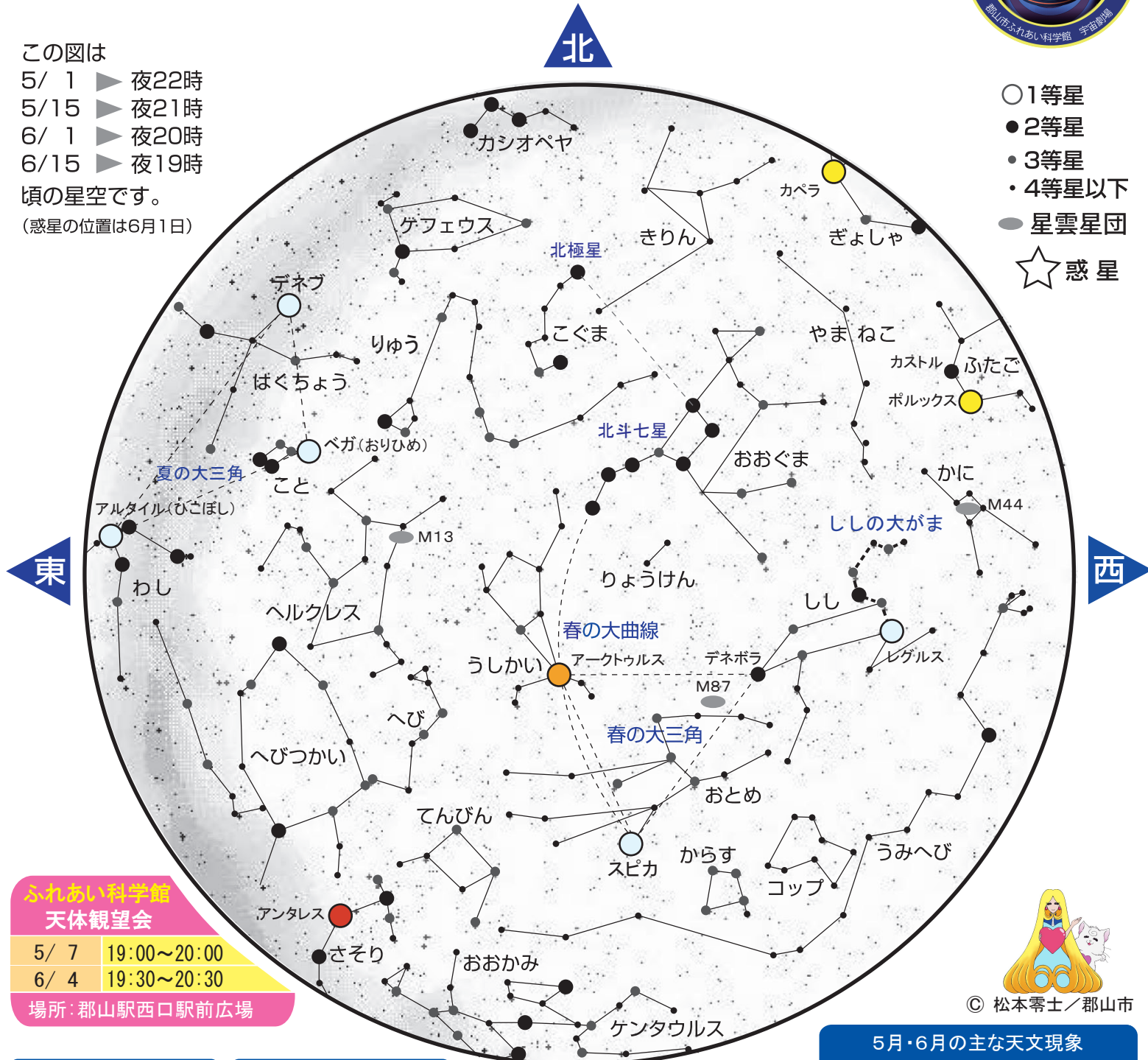
2022年

5月▶6月の星空



この図は
5/ 1 ▶ 夜22時
5/15 ▶ 夜21時
6/ 1 ▶ 夜20時
6/15 ▶ 夜19時
頃の星空です。
(惑星の位置は6月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星



ふれあい科学館 天体観望会

5/ 7	19:00~20:00
6/ 4	19:30~20:30

場所: 郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

5月・6月の主な天文現象

5/ 6	みずがめ座 η 流星群が極大
6/16	水星が西方最大離角
6/21	夏至

郡山の日の出・日の入		
5/ 1	4:44	18:28
5/15	4:30	18:41
6/ 1	4:19	18:54
6/15	4:17	19:01

月の満ち欠け		
新月	5/1, 5/30, 6/29	
上弦	5/ 9, 6/ 7	
満月	5/16, 6/14	
下弦	5/23, 6/21	

※上弦、下弦は半月です。

この時季の夜空は、春の星座が見ごろを迎えています。まずは空を大きく見上げ、頭の近くから北寄りに並ぶ7つの星を探してみましょう。まるで柄杓のような特徴的なこの並びは「北斗七星」です。これは星座ではなくおおぐま座の一部で、背中からしっぽにあたります。次にそのしっぽから曲線を描くように2つの一等星をたどることができます。1つ目はオレンジ色に輝く「アークトゥルス」で、うしかい座の足元に輝いています。そこからさらに視線を下げると見えてくる星が「スピカ」です。白く美しいこの星はおとめ座の手元に輝いています。そこには麦の穂が描かれ、それを持つ女神は農業の神デーメーターの姿です。さて、これまで北斗七星からアークトゥルス、スピカとたどってきました。それらを結んで描くこの曲線は、「春の大曲線」といいます。穏やかで優しい季節にぴったりな、柔らかな曲線を実際の夜空で描いてみてください。

前回明け方の空に集まる惑星たちをご紹介しましたが、その賑わいが6月にピークを迎えます。6月中旬から下旬にかけて、明け方の空に全ての惑星たちが大集合します。例えば6月18日は南の空に月が見え、そこから東の地平線に向かって土星、海王星、木星、火星、天王星、金星、水星が並びます。そして日ごとに月が東へ移動しながら惑星たちの近くを通り過ぎていくため、その日ならではの月と惑星の共演を見ることができます。また、天王星と海王星は肉眼で見ることが難しいため、双眼鏡や望遠鏡でその姿をお楽しみください。

